

4年 総合

これからのためにスマホ・リアル・ストーリーで学習しよう

番組名 「スマホ・リアル・ストーリー」

第1回～第4回 について実践
(紹介実践例第2回「一度押しただけ」)

実践者 宮崎市立国富小学校 教諭 水野 宗市

実際にスマホを持った小学生たちのリアルな体験を伝える番組です。どんな危険が潜んでいるのか、どう対応すればよいかが具体的によく分かります。

番組の使い方

活用のねらい

スマホ活用により実際に起こった「危険な事例」をもとに構成されている本番組から**臨場感をもたせる**ことができる。情報モラルの問題点である「児童の実態の違い(スマホ等所有, 所有なし)」に対して、本番組視聴を通して「**説明内容**」と「**課題(学習問題)**」を整理して実態に応じた気づきができる。そして、インターネット活用における問題点を理解し、危険に際して**的確に判断する力**を育む。

具体的な手立て

1回目の視聴で、問題点を把握し自分なりの課題をつかむ。児童がとらえた内容(分かったこと・疑問点)をもとに、**児童の実態を分析し支援する内容**を整理する。分析から習得すべき内容を提示する。また、疑問点を集約して実態に応じた学習問題を提示し、学習のポイントをpushして**2回目の視聴**を行う。**考える場を設け、話し合い活動**を行って学習を深める。

授業の概要(2/4時間目)

本時の目標

「インターネット上で嘘をつかないこと」と「不正請求」があった際にどう対応すればよいのかについて考え、自ら判断する力を育成する。

事前・・・1回目の視聴

「分かったこと・疑問点」を分析し、「フィルタリング」や「サイト」について、全体で確認をする。

学習問題 提示

「18才以上ですか」の時に「はい」と押ししてしまったのに、本当に無視をしていいのだろうか・・・無視できる???

番組視聴(10分)・・・2回目の視聴

学習問題に対する**自分なりの答え**を考えながら視聴する。

学習問題に対する自分の答えをワークシートに書く。 <個別学習>

グループ内でどんな考えか意見交換をした後、全体での話し合いを行う。意見が2グループ(無視する, 無視できない)に分かれ、**どちらが正しいのかを理由を述べながら積極的に話し合う**。
<共感的理解・再思考の場>

不正請求があった場合には、「必ず無視をすること」「家の人に相談すること」を確認する。同時に、**危険に遭遇したとき、自分が正しい対応ができるためには「日常生活が大事であること」を繰り返し伝える**。
<再確認の場>

生き生きと学ぶ子どもの姿

番組から課題を把握するとともに、知識を学ぶ



番組では「無視しよう」と言ってたけど、本当に「無視」してもいいのかな?

フィルタリング、クレジットカードって何?知りたいたい。



再視聴により、課題解決に向けて深く考え話し合う



「無視」まぢがえただけだもん。そんなに高いお金を請求するのはおかしいよ。

「無視できない」本当に家や学校に来るかも。払わなかったらもっと高くなるよ。



実際の問題による実感を伴った理解

「スマホには“なりすまし”“不正請求”“気持ちの行き違い”があり、不安になりました。でも、どうすればいいかがよくわかりました。」と、どの子どもたちも自分の実態に応じて、将来に向けての感想を書いていた。実際の問題を「自分のこと」ととらえ実感を伴った理解につながったと思う。

指導を終えて

同じ番組を二度視聴する・・・「飽きるのでは」と心配したが、児童は二度とも**真剣に視聴**していた。視聴する視点が違うことで、番組の見方も違っていたと思われる。情報モラルで最も大事だと思われる「困ったときに、実際に自分でどのように対応できるか」をテーマにすることで、**自分のこととしてとらえ深く思考**することができた。また、様々な課題に対しては、「日々の生活が大事である」ことを指導することで、**自分の生活を見直し**ていた。

フィルタリングって何?



スマホ・リアル・ストーリーの学習で分かった事はたくさんあります。その中で先生がいっつも言って言いました。毎日の生活が大事なんだよという言葉がよく心に残りました。そしてスマホは楽しいけどこわいんだという事も考えてすごしたいです。